

日本比較薬理学・毒性学会拡大評議員会 議事録 (案)

日時：平成 22 年 9 月 17 日 第 150 回日本獣医学会学術集会

場所：帯広畜産大学 第 4 会場 (25 番講義室) (帯広市)

議長：尾崎博会長 (東京大学)

出席者：伊藤茂男、乙黒兼一、石塚真由美 (北海道大学)、北澤多喜雄、寺岡宏樹、平賀武夫 (酪農学園大学)、石井利明、佐藤栄輝、室井喜景 (帯広畜産大学)、原幸男、山脇英之、岡田宗善 (北里大学)、古濱和久 (岩手大学)、尾崎博、堀正敏、村田幸久 (東京大学)、清水一政、金田剛治、田島剛 (日本獣医生命科学大学)、下田実、佐々木一昭 (東京農工大)、浅井史敏、和久井信 (麻布大学)、小森成一、海野年弘 (岐阜大学)、竹内正吉、東泰孝、松尾三郎、中川博史、西村和彦 (大阪府立大学)、太田利男、高橋賢次 (鳥取大学)、佐藤晃一 (山口大学)、池田正浩 (宮崎大学)、宮本篤、白石光也 (鹿児島大学) (順不同、敬称略) 36 名

#### 1) 私立大学獣医学協議会に関する報告 (清水一政先生)

教育内容、特に参加型臨床実習を充実させることが報告された。また新期開学や入学定員に関しては慎重に対応することが報告された。

#### 2) 国公立大学獣医学協議会に関する報告 (伊藤茂男先生)

参加型臨床実習において学生の実習内容が獣医師法に抵触する恐れがあることに関して農林水産省との協議内容に関して報告があった。また各大学間の共同獣医学過程の進捗状況に関して報告があった。海外の獣医学調査の依頼を文部科学省より受け、現在、北大、鳥取大、北里大学が対応中であることが報告された。コアカリや臨床実習に関する委員の再整備に関して議論があったことが報告された。

#### 3) コアカリ作成の進捗状況に関する報告

尾崎博先生より全体の進捗状況に関して報告があった後、作業部会担当の先生方より進捗状況の報告

があった。薬理（池田正浩先生）、毒性（佐藤晃一先生）、臨床薬理（太田利男先生）

#### 4) e-learning に関する報告（伊藤茂男先生）

テレビ会議システムを全大学に導入することが報告された。サーバーを同一機種で統一する予定であったが、2機種になるとの報告があった。薬理学のコンテンツについては、教科書執筆者に原案（素案）を依頼し、伊藤勝昭先生および尾崎博先生が調整作業に当たることが提案され了承された。

5) 毒性学および薬理学の教科書をコアカリ対応へ改訂する予定があることが尾崎先生より報告された。

#### 6) 分科会長会の報告（尾崎博先生）

獣医学会あり方委員会において開催頻度を再検討する話があると報告された。学会員の名簿（電子化）を作成する予定があることが報告された。

7) 越智賞、農学賞、猿橋賞など種々の賞の公募依頼が親学会から来るが、各賞に推薦する候補者をあらかじめ会長宛に推薦してもらえると円滑に事務手続きが出来る旨、要請があった。

8) 分科会奨励賞の一部改訂が池田先生より提案され、承認された。

#### 9) 新教員紹介

太田利男先生（鳥取大、薬理）より、高橋賢次先生（准教授）の紹介があった。